

て生計を維持していたものとする。ただし、妻（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にあった者を含む。第3項において同じ。）以外の者にあつては、職員の死亡の当時次に掲げる要件に該当した場合に限るものとする。

(1)～(3) 略

(4) 前3号の要件に該当しない夫、子、父母、孫、祖父母又は兄弟姉妹については、別表第2の第7級以上の障害等級の障害に該当する障害の状態又は軽易な労務以外の労務に服することができない程度の心身の故障による障害の状態にあること。

2及び3 略

附 則

(障害補償年金差額一時金)

第2条の3 当分の間、障害補償年金を受ける権利を有する者が死亡した場合において、その者に支給された当該障害補償年金及び当該障害補償年金に係る障害補償年金前払一時金の額の合計額が、次の表の左欄に掲げる当該障害補償年金に係る障害等級に応じ、

て生計を維持していたものとする。ただし、妻（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にあった者を含む。第3項において同じ。）以外の者にあつては、職員の死亡の当時次に掲げる要件に該当した場合に限るものとする。

(1)～(3) 略

(4) 前3号の要件に該当しない夫、子、父母、孫、祖父母又は兄弟姉妹については、別表第2の第7級以上の等級の障害に該当する障害の状態又は軽易な労務以外の労務に服することができない程度の心身の故障による障害の状態にあること。

2及び3 略

附 則

(障害補償年金差額一時金)

第2条の3 当分の間、障害補償年金を受ける権利を有する者が死亡した場合において、その者に支給された当該障害補償年金及び当該障害補償年金に係る障害補償年金前払一時金の額の合計額が、次の表の左欄に掲げる当該障害補償年金に係る障害の等級に応じ、

それぞれ同表の右欄に掲げる額に満たないときは、実施機関は、その者の遺族に対し、補償として、その差額に相当する額の障害補償年金差額一時金を支給する。

障害等級	額
略	

2 及び 3 略

(障害補償年金前払一時金)

第 2 条の 4 略

2 障害補償年金前払一時金の額は、前条第 1 項の表の左欄に掲げる当該障害補償年金前払一時金に係る障害補償年金に係る障害等級に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる額を限度として規則で定める額とする。

3 及び 4 略

別表第 1 (第 7 条の 2 関係)

それぞれ同表の右欄に掲げる額に満たないときは、実施機関は、その者の遺族に対し、補償として、その差額に相当する額の障害補償年金差額一時金を支給する。

障害の等級	額
略	

2 及び 3 略

(障害補償年金前払一時金)

第 2 条の 4 略

2 障害補償年金前払一時金の額は、前条第 1 項の表の左欄に掲げる当該障害補償年金前払一時金に係る障害補償年金に係る障害の等級に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる額を限度として規則で定める額とする。

3 及び 4 略

別表第 1 (第 7 条の 2 関係)

種別	傷病等級	倍数
略		

備考 この表に定める傷病等級に
 応ずる障害に関しては、地方公
 務員災害補償法施行規則（昭和42年自治省令第27号）別表第
 2の例による。

別表第2（第8条、第11条関係）

種別	障害等級	倍数
略		

備考 この表に定める障害等級に
 該当する障害は、法第29条第2
 項の規定の例による。

種別	等級	倍数
略		

備考 この表に定める等級に
 応ずる障害に関しては、地方公務員
 災害補償法施行規則（昭和42年自治省令第27号）別表第2の
 例による。

別表第2（第8条、第11条関係）

種別	等級	倍数
略		

備考 この表に定める等級に
 応ずる障害に関しては、地方公務員
 災害補償法の別表の例による。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例第2条第2項及び第3項の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に発生した事故に起因する通勤による災害について適用し、施行日前に発生した事故に起因する通勤による災害については、なお従前の例による。